

平成24年度第2回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成24年7月10日(火) 19:20~21:45

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]12名:伊藤昌徳(ハートライフ病院)、増田昌人(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、上田真(沖縄県立中部病院)、棚原陽子(琉大病院)、大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)、垣花真紀子(沖縄県立宮古病院)、栗山登至(琉大病院)、喜納美津男(きなクリニック)、島袋恭子(那覇市立病院)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、依光たみ枝(沖縄県立八重山病院)

[欠席者]4名:友利健彦(北部地区医師会病院)、(那覇市立病院)、上間一(オリブ山病院)、福地泉(アドベンチストメディカルセンター) 笹良剛史(南部病院)、

[陪席者]3名:安里千恵美、(琉大病院)、大久保礼子(琉大病院)、上原朋子(琉大病院)

<報告事項>

今回より、Skypを用いた会議を行った。

1. 「平成24年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について

伊藤副部長より、平成24年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。

2. <普及啓発活動>ピアサポートキックオフイベント実施について

伊藤副部長より、資料2に基づき、5月29日(火)午後3時より琉大病院2Fロビーにて、沖縄県地域統括相談支援センター主催の普及啓発イベントが開催された報告があった。

3. がんピアサポートフォローアップ研修について

伊藤副部長より、資料3に基づき「第1回 ピアサポーターフォローアップ研修会」の開催について報告があった。主催、沖縄県地域統括相談支援センター。日程は、7月29日(日)場所は、おきなわクリニカルシミュレーションセンターにて行う。

4. 緩和ケア研修会実施について(琉大病院主催、ハートライフ病院主催)

伊藤副部長より、資料4に基づき、琉大病院と、ハートライフ病院で行われた緩和ケア研修会の報告があった。琉大病院主催は、4月15日(日)、4月22日(日)に行われ、協力者26名、受講予定者21名、修了者15名であった。プレテスト等の結果については、資料を参照してください。総合評価アンケート結果で、十分に理解できたという回答が72%、普通という回答は28%で、「今回あまり理解できなかった」という回答も出た。改善点に「土、日の開催にして欲

しい」という意見があった。いつも問題視されている在宅医療に関しては、具体的な事例が聞けて良かったという感想があった。ハートライフ病院主催は、5月19日（土）、5月20日（日）に行い、協力者18名、受講予定者24名、修了者18名であった。プレテスト結果等は資料を参照してください。総合評価アンケート結果で「理解出来なかった」という回答はなかったが、無回答が1ヶ所あった。改善点は、在宅の講義時間が短い、事例があった方が良かったという意見があった。

5. 緩和ケアパンフレット活用依頼文書発送について

伊藤副部長より、資料5に基づき、緩和ケアパンフレットの活用依頼文書を発送した報告があった。送付した施設は240ヶ所。（専門施設23ヶ所、標準施設83ヶ所、一般施設134ヶ所）

6. 次回の部会日程について

次回は10月9日（火）19:00～開催予定

<協議事項>

1・沖縄県がん対策推進基本計画（緩和ケアの推進について）

増田委員より、資料6、7に基づき、次期沖縄県がん対策推進基本計画に（協議会案）で、緩和ケア部会が作成を担当している「がんと診断された時からの緩和ケア推進」「地域の医療・介護サービス体制の構築」について、事務局で作成したたたき台について、ディスカッションを行い完成させるため、意見を伺いたいとの要望があり、委員の皆様から以下の意見があった。

<目標成果>

- ・目標成果の数値は、はっきりした指標がない為、空白としておく。（後日、整合性を取る。）
- ・目標成果の【目標】を【指標】に変更する。

<項目1>

- ・中間成果に「29年度には、各二次医療圏毎に在宅を行う薬局が2施設以上存在する」を追加する。

<項目2>

- ・結果を「26年度には、現在、緩和ケア病棟を持たない各二次医療圏で緩和ケア病棟を持つ医療機関が2施設以上増え、緩和ケア病床数が現在の1.5倍の77床となる。・29年度には、各二次医療圏に緩和ケア病棟を持つ医療機関が1施設以上あり、緩和ケア病床が現在の2倍の102床となる。」に修正する。

<項目4>

- ・中間成果「緩和ケアチームへの依頼件数が増加する」を「緩和ケア実施件数が増加する」に変更する。

<項目 5>

- ・中間成果の数値目標は無しとする。

2. 沖縄県がん対策推進基本計画（地域の医療・介護サービス提供体制の構築）について

<目標成果>

- ・1に「施設での看取りを含む」を追加する。2の数値目標は無しとする。

<項目 2>

- (1)の結果について数値目標は調整する事となった。
- (2)の結果の「26年度には、研修会に参加した医師が50人になる」で人数を10人に変更する。
- (2)の結果の「29年度には、研修会に参加した医師が100人になる」で人数を50人に変更する。

<項目 4>

結果の「26年度には、すべての二次医療圏で同協議会が年4回以上開催されている」を年2回に変更
結果の「29年度には、すべての二次医療圏で同協議会が年12回開催されている」を年4回に変更
26年度の中間成果を、「26年度には、退院するがん患者でサービスを必要とする患者の60%に退院時カンファレンスが行われている」に変更する。

3. 在宅緩和ケア地域連携事業について

増田委員より、資料8に基づき、新たな在宅緩和ケア地域連携事業について、これから取り組んで行きたい。資料（ア）の「二次医療圏内の在宅療養支援診療所等のリスト及び在宅緩和ケア連携を患者家族に示せる在宅緩和ケアマップの作成」については、後日、アンケートのたたき台を作成し、部会で確認する事となった。

4. 沖縄県内の医療計画について

増田委員より、医療機能調査アンケートが終了し、結果が出ているので、資料9を参照してくださいとの報告があった。